

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
異なる部門の事業が連携した取組の部(部門連携の部)

実施機関名（主事業の実施機関名）	国土交通省福山河川国道事務所
実施機関名（連携先の実施機関名）	福山市
ふ り が な	ちよだちかわまちづくりじぎょう
1. 事業(施策)の名称	千代田地区かわまちづくり事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	平成30年4月1日 ～ 令和7年3月31日
3. 事業費(工事費)	574百万円(国土交通省298百万円・福山市276百万円)
4. キーワード	かわまちづくり事業、福山市営競馬場跡地整備事業との連携、都市・地域再生等利用区域指定
5. 事業概要	旧競馬場跡地の再整備による総合体育館等と連動し、河川空間を一体的に利活用出来るよう、かわまち広場を整備。整備後も福山市、市民有志や利用者、民間企業と協議や社会実験を重ね、環境整備や利用促進に向け改善を実施。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a)事業連携 (c)設定したゾーンに合わせた施設整備	(b)行政と住民・民間団体との協働 (i)都市・地域再生等利用区域の指定による民間利用の増進
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)水辺空間の利便性向上による集客力向上 (f)施設利用者数増加による地域活性化	(a)協働により、立地特性、市民のニーズを反映した的確かつ持続的な施設整備内容の立案 (f)スポーツ大会の新規開催やイベント増加による賑わいの創出

7. 特にアピールしたい点
○事業連携による利便性向上と地域活性化への寄与 「福山市営競馬場跡地整備事業」と「かわまちづくり事業」の連携により、一体的に整備したことで、スポーツ・レクリエーションの拠点となり、利活用の幅が広がり、地域の活性化に寄与した。 ○親水・スポーツ空間の提供 背後地に整備されスポーツ・レクリエーションの拠点となる福山市総合体育館と連絡させることで、回遊性、利便性を向上させた。また、水辺へのアプローチとして親水護岸およびスロープにより、安全な水上スポーツ実施を可能とするとともに、スケボーパークやバーベキュー広場等の設置により、幅広い層が活用できる親水空間を提供。 ○利活用推進委員会による整備内容の検討 整備内容及び利活用については「あしだかわ利活用推進委員会」にて議論が行われ、立地特性や市民のニーズを的確に反映した事業となった。令和7年度、市民の意見を反映し照明設備を整備する等、利便性向上を図っている。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



千代田地区かわまちづくり・福山市総合体育館 全景



スケートボード場夜間照明(R5.10 社会実験)

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

事業実施位置図



整備前の状況(全景)

○平成24年度末に廃止された、福山市営競馬場の跡地整備と連携し、千代田地区かわまちづくりを一体的に整備したことで、水面利用も含めた様々なスポーツや親水イベントを安全に行うことが出来るようになり、再び地域の賑わいを取り戻すことに寄与。

○上記の整備により、「スポーツ・健康ゾーン」として相互の利活用が可能となり、集客面の相乗的な効果と複数の施設利用を目的とする回遊性が生まれ、交流人口の拡大に大きく寄与し、地域の新たな賑わいを創出。



市営競馬場跡地整備エリアを3つのゾーンに区分
→スポーツ・健康ゾーンに合わせて整備



千代田地区かわまちづくり整備内容

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

○連絡橋で福山市総合体育館と芦田川堤防を連絡

福山市総合体育館の2階デッキとかわまちづくり整備箇所(芦田川堤防)を連絡し、相互の施設の往来を可能とし両施設の更なる利便性の向上を図った。



両施設の相互利用イメージ

○イベント広場としての活用

堤防天端から高水敷へのアクセス確保のため、階段状の高水護岸を設置。かわまち広場でのイベントの観客席としても利用できるよう配慮した構造とした。



かわまち広場での各種イベントの状況

○水面への安全なアクセスを確保

水際部では、低水護岸の一部を階段及びスロープとし、安全に水面へアクセスできる施設として整備。新たにトライアスロン大会も開催されるなど、水面の利用機会が増加した。



階段護岸



スロープ護岸

10. 連携した部門

連携した部門（主部門:◎、連携先部門:①～⑤）

道路	河川	都市	住宅	建築	港湾	漁港漁場	鉄道
	◎	①					

連携した部門に関する情報

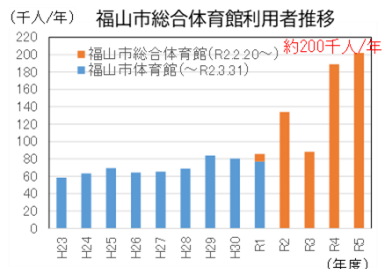
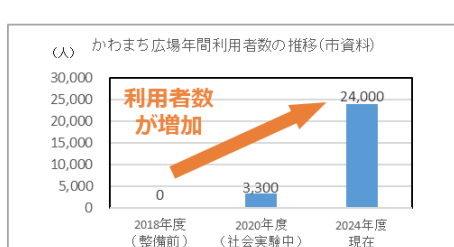
	実施機関名	対象事業又は施策	対象事業又は施策の内容
①	福山市	競馬場跡地整備事業	廃止された市営競馬場跡地の開発・整備事業
②			
③			
④			
⑤			

11. 異なる部門の事業が連携した取組の概要

平成24年度末に廃止された福山市営競馬場跡地の利活用について「水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点」をコンセプトとし、福山市内外からの多くの誘客等により再び地域の賑わいを取り戻すことを目指す「福山市営競馬場跡地整備事業」と、水辺空間と一体となった賑わいのあるまちづくりを目指す「千代田地区かわまちづくり」計画を連携して一体的に進めたものである。

12. 各段階における連携の工夫・効果等

〇「千代田地区かわまちづくり」の整備内容については、国、福山市及び各種団体で構成された「あしだかわ利活用推進委員会(全8回)」にて議論し、立地特性、ゾーニング及び市民のニーズに合った整備内容となった結果、整備前に比べかわまち広場及び総合体育館それぞれの利用者が増加し、再び地域の賑わいを取り戻すことに寄与した。



〇事業期間中に「都市・地域再生等利用区域」に指定され、民間事業者の営利活動が可能となった。広場の運営については、周辺の自治会、市民団体、公園管理者からなる「千代田地区かわまちづくり官民連携プラットフォーム」において実施されており、利用面の向上促進に寄与している。

事業スキーム

